

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 令和元年9月20日(金)
午前10時～午前10時59分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 副市長 小川信彦、総務部長 山田日出雄、市民部長 中村定秋、健康福祉部長 山北由美子、教育こども未来部長 長谷川忍、消防長 柴田義晴、秘書企画課長 伊藤新治、同企画政策グループ長 小出健二、同広報広聴グループ長 宇佐見信二、行政課長佐野剛、同行政グループ長 佐藤信次、環境保全課長 丹羽至、同廃棄物グループ長兼清掃事務所長 佐野隆、子育て支援課長 西井上剛、同児童グループ長 林高行
- 6 事務局出席者 議会事務局統括主査 寺澤顕、同主事 高山智史
- 7 議長あいさつ
- 8 副市長あいさつ
- 9 報告事項
 - (1) 一部事務組合議会等の経過報告
 - ① 小牧岩倉衛生組合議会
伊藤議員：資料に基づき報告
【質疑】なし
 - ② 愛知県尾張水害予防組合 組合会
関戸副議長：資料に基づき報告
【質疑】
堀議員：退職給与基金を取り崩したということだが、前事務局長以外にも職員がいて、今後の退職にあわせて基金の積み立ての計画等の説明はどうなっていたか。
関戸副議長：説明はなかった。
 - (2) 執行機関からの報告
 - ① 岩倉市制50周年記念事業について
秘書企画課長：資料に基づき説明。
【質疑】なし
 - ② 第2期岩倉市行政経営プラン及び同行動計画に基づく平成30年度実績及び令和元年度計画の評価結果報告について
行政課長：資料に基づき説明。報告書が提出されるまでの経過。7月24日、30日、8月3日の3日間、行政経営プラン推進委員会を開催。9月11日に委

員長と副委員長から報告書が市長に提出された。資料2 ページ II 総括、及び別紙 A 3 資料。平成 30 年度行政改革の取組による効果額は、6019 万 4000 円となり、昨年度比 3786 万 1000 円減。

【質疑】

堀議員：A 3 資料の中で、議会内でもいろいろ質疑があったが、有給休暇取得状況やそこを勤務評定へ反映させることが必要ではないかということについて、部署によっては事件があったり、欠員があると思う。今日内示だと思うが、正式な臨時職員を雇うのか。職場の環境と年次休暇の取得率減少は結びつきが強いと思うので、今後の計画はどうか。

総務部長：職員配置の関係だが、人事異動職員採用については、職員採用計画の前に各担当課所属長からヒアリングを通じて、各課の業務の状況を把握し、適切に配置したい。

堀議員：欠員になりそうな部署というのはあると思う。会計年度任用職員とは別に、正式な臨時職員の制度もある。緊急時の対応はどう考えるか。

総務部長：臨時的任用職員は現時点で採用の予定はない。会計年度任用職員で対応していくことになると考えている。

大野議員：意見。1 ページ目で、令和元年度の計画でワークライフバランスのことが下に書いてあるが、30 年の計画は職員向けに休暇制度についてわかりやすい資料を作成し周知すると書いてあった。昨年度のままではよかったです。検討するとか努めるとか、トーンダウンしているのは違和感だ。

行政課長：まず文言については、作成する中で大きな意味の違いはない。引き続き取組むということ。

大野議員：30 年度の時は周知するとなっていて、令和元年は周知に努めるとなっているのは、表現の仕方でトーンが落ちていると考える。

行政課長：次年度以降はしっかり記載する

片岡議員：委員会からの意見がない所がいくつかあるが、全く意見が出なかったのか。

行政課長：それぞれの取組業務について一つひとつ議論をいただいております、様々な意見交換は行われた。こちらにまとめるというか整理するような形ではなかった。意見交換はしっかりされている。

片岡議員：何かしら意見はあったのだろうと思う。可能な限り載せていただいて、一つひとつの事業に対してどういった委員会の中で意見があったかというの分かるようになればよりよいのかなと感じた。

総務部長：委員会の質疑応答の中で解決するものもある。すべて網羅するわけではなくて、推進委員会で取り組むべきものを書きだした。議事録はHPで公開されている。

堀議員：色んな料金で、不納欠損を少なくしてほしいという意見がある。市

外へ転出した場合でも個別で継続して訪問を行うという計画になっているが、遠いところに転出することもあるので、どのくらいのコストをかけるのか等、具体的なやり取りはなかったか。

総務部長：放課後児童クラブの手数料や保育料もそうだが、在籍しているときに保護者の方と直接会う機会が多いので、そこで滞納にならないよう取り組んでいくが、給食費などどうしても後になってしまうものもある。近隣であれば滞納整理もしているが、しかし、遠くだからやらなくてもいいという話にはならない。公平性の観点から、状況をみて対応していくということになっていると思う。

③ 雑がみ回収袋の配布について

環境保全課長：岩倉市のごみの量は平成13年度をピークに毎年減少しているが、近年減少率が低下している。燃やすごみへの混入がされやすいことから、今回は雑紙に絞って更なる資源化を図ることを目的に実施する。これまでも広報で特集を組んだり、環境委員会でちらしの回覧を依頼する等、市民への周知啓発を行ってきたが、さらなる雑紙の資源化のために、広報10月号にあわせて雑がみ回収袋を全戸配布することとしている。資源になる紙類、ならない紙類、雑がみの正しい出し方が袋に記載してある。市民が袋を手にとることで、直接的、視覚的に雑がみが資源であるということ的印象付け、一層の資源化を狙うものである。なお、この袋は臨時的に配布するものであり、今後正しい出し方をしてもらうためのきっかけとなることを目的としているので、今回限りの配布である。

【質疑】

水野議員：将来的に販売する予定は

廃棄物グループ長：基本的には今回限りの配布。市民の間で雑がみは資源という認識はあるが、可燃ごみに混入することが多くまだまだ認知不足。改めてPRのためのもので、販売する計画はなく、ご家庭にある紙袋を使って出すことをPRする。

須藤議員：広報に入れて配布か。

廃棄物グループ長：広報紙の配布業者が広報と同時配布する。

④ その他

なし

(3) その他

・ポプラの家の外壁塗装について

【質疑】

木村議員：岩倉団地内にあるポプラの家の8階建ての101棟の外壁塗装が行われたが1階だけ塗装されていない。なぜか。

児童グループ長：今回の塗装は、今年の7月～8月にかけてURが行った。今年度に入ってから工事をするということはお聞きしたと第5児童館に確認している。1階部分の児童館に関しては、平成8年のURとの規約により市で管理するとなっており、今回塗装されなかった。

木村議員：なぜそういう判断をしたのか。今後計画があるのか。市に負担金がどのくらい発生するかなどを話し合ったうえの判断か。

子育て支援課長：URが事業に取り組むことが事前に私どもで承知できていなかった。こちらからも声掛けをして同じタイミングでやっていく、またURからも大きな事業をやるときは市に声を掛けるという連携ができていなかった。結果として知らないうちにURの事業が執行された。

木村議員：URから声掛けはなかったのか。

子育て支援課長：児童館の職員には工事があるからという声掛けは今年度に入ってからあったとは聞いている。児童館部分を市がやる認識が児童館職員になく、そういう意味での連絡も密にとれていなかった。

宮川議員：例えば共益費があってその中で行われる認識だったのではないか。外装部分はやってもらう取り決めになっていないか。

子育て支援課長：規約の中で1階は市の管理となっているので、UR側は線引きしたところまでの塗装をしたものと理解している。

堀議員：この場ではどうかと思うが、合特法の説明をきちんとしてほしいと発言したがどの場面で答弁されるか。環境保全課職員が同席しているので、できればこの場でお願いしたい

議長：堀議員の件は別の機会に。

木村議員：話を戻すが、共益費を払っているから一定はURにやってもらえらると思っていただけから残念。見て目がきちんとしていてきれいなのが大事。今後の対応は。

子育て支援課長：これを機にURと話をした。連携は密にとっていきたい。

大野議員：ポプラの家のペンキはいつやるのか。

子育て支援課長：どのくらいの経費がかかるのか確認する必要がある。子育て支援課のたくさんある施設の中なので、今すぐ判断できない。

- ・企業立地のエントリーについて

議長：立地推進室から、想定以上に申込があり、受付終了日を設定したとのこと。令和元年11月8日のようだ。HPに記載があるので各自確認を。

- ・中学校体育大会について

教育こども未来部長：天候が心配。中止の連絡は7時30分。HPで確認を。
昨年、岩中は中止したが、南中は実施した。予備日は南中9月24日、岩中9月25日。

11 その他

議長：尾北五市研修会があるがレターケースの確認を。議員互助会11月5日、昼食場所等検討中。